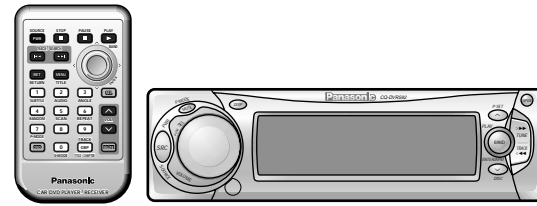


# Panasonic

アクティブディスプレイDVDサウンドステーション



## 取扱説明書

品番

### CQ-DVR592D



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なお読みください。  
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



# 特長



# 再生できるディスクについて

## DVDプレーヤー・CD/MP3プレーヤー・FM/AMチューナー・ CD/MDチェンジャーコントロール機能、高音質50W x 4chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応\*1

「CD-R/RWディスクのご使用について」をよくお読みください。(P.44ページ)

MP3対応

本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD(音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク)です。  
「MP3ファイル作成時の留意点」をよくお読みください。(P.42ページ)

CD/MDチェンジャーコントロール機能(P.30ページ)

ツインチェンジャーコントロールユニットを接続すれば、最大2台まで同時接続できます。

プライベートモードを使って楽しむリアエンターテインメントシステム(P.28ページ)

前席と後席で別々のソースを楽しむ便利なプライベートモードを搭載。

## 取りはずしができる、デタッチャブルフェイスを採用

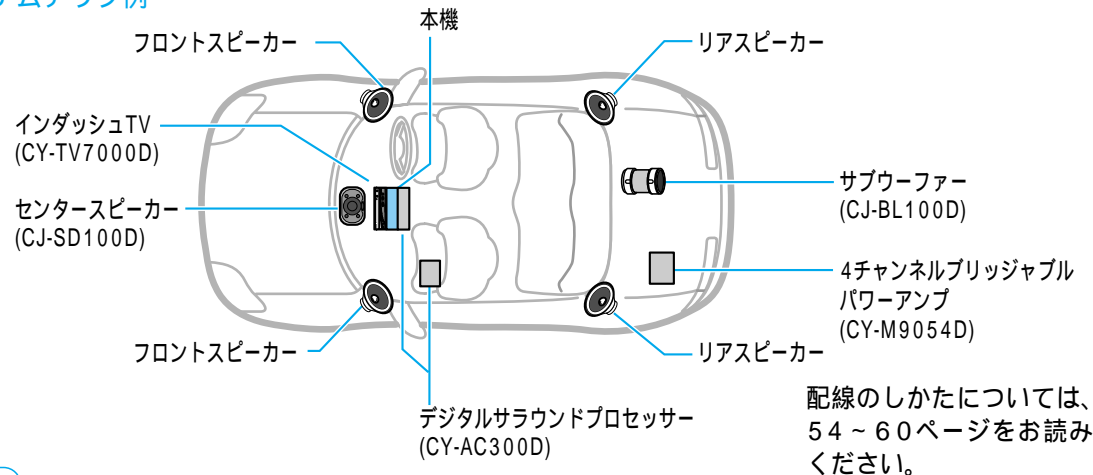
車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。

## システムアップ用端子を装備

ドルビーデジタル5.1ch、dtsサラウンドシステムにシステムアップできる光デジタル出力端子付きデジタルサラウンドプロセッサ、サブウーファーとセンタースピーカーを接続して、ドルビーデジタル5.1chとdtsの5.1chサラウンドが楽しめます。

ドルビーデジタル5.1chとdtsの5.1chサラウンドを楽しむには、別売のデジタルサラウンドプロセッサ(CY-AC300D)および光ファイバケーブル(CA-LRD60D/CA-LRD30D)が必要です。

### システムアップ例



### お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年1月現在)

CDチェンジャー : CX-DP801/DP650/DP600/DP1205/1203 D

MDチェンジャー : CX-MD6D

\*1 : CDチェンジャーは、機種によってCD-Rに対応していないものがあります。また、ディスクによっては正常に再生されない場合もあります。CD-RWには対応していません。

ディスク	マーク(ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	音声方式	リージョン番号
DVDビデオ		12 cm	NTSC	LPCM、MPEG1、MPEG2、Dolby Digital	2 ALL
ビデオCD		8 cm		LPCM、MPEG1	
CD、CD TEXT				LPCM、MP3	

### お知らせ

CD-R/RWについては、「CD-R/RWディスクのご使用について」をお読みください。(P.44ページ)

MP3は、CDに書き込んだもののみ再生できます。「MP3ファイル作成時の留意点」をお読みください。(P.42ページ)

DVDビデオ/ビデオCDは、ディスク側の制約により本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。

ディスクのジャケットなどをお読みください。

dts CD、dts DVDを再生しても正常な音声を再生できません。(デジタル音声のみ出力されます)

DVDのカラオケ機能には対応していません。

## 本機で再生できないディスク

リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオ

NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク

DVDオーディオ DVD-ROM DVD-RAM DVD-R DVD-RW DVD+RW

CD-ROM (MP3を除く) CD-RW (MP3、LPCMを除く) CD-R (MP3、LPCMを除く) CD-G

VSD CVD CDV SVCD SACD フォトCD (再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります) Divx Videoディスク CD-EXTRAなど

## DVDに記載されているマークについて

リージョン番号

DVDビデオには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられたリージョン番号があります。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。



本機のリージョン番号は、「2」です。ディスクに「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



字幕言語数



音声言語数



アングル数



数字は、記録されている数を示します。

画面サイズ(横:縦の比)

4:3の標準サイズ

レターボックス

16:9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックス(P.51ページ)で再生されます。

モニターの画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャン(P.51ページ)で再生されます。

モニターに映し出される映像のサイズは、本機の画面モード(アスペクト比 P.32ページ)とディスク側の画面サイズによって異なります。



# もくじ

## ご使用前に

⇒ 2ページ

特長 ⇒ 2ページ

再生できるディスクについて ⇒ 3ページ

安全にお使いいただくために ⇒ 6ページ

使用上のお願い ⇒ 10ページ

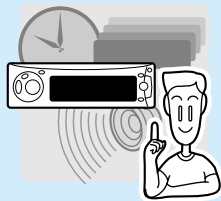
付属品・添付品の確認と準備 ⇒ 11ページ

各部のなまえとはたらき ⇒ 12ページ



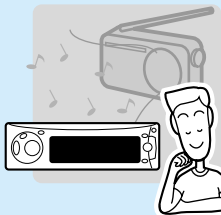
## 基本操作

⇒ 16ページ



### 共通操作 ⇒ 16～17ページ

- 電源を入れる/切る
- 音源(ソース)を選ぶ
- 音量を調整する
- 一時的に消音する
- 表示を切り替える
- 時計を調整する



### ラジオを聞く ⇒ 18～19ページ

- 一つずつ記憶させる
- 受信状態のよい順に記憶させる
- 放送局を呼び出す



### ディスクを再生する ⇒ 20～23ページ

- メニューが表示されたときは
- 再生を止める(停止)
- 頭出しする
- 早送り/早戻しする
- 一時停止(静止)する



## 応用操作

⇒ 23ページ



### ディスクを再生する ⇒ 23～27ページ

- 繰り返し再生する、スロー再生する、順不同に聞く、曲を探す、番号の入力で選ぶ
- OSD(オンスクリーンディスプレイ)を表示する
- 字幕言語/音声言語/角度(アングル)を切り替える
- 音声(ステレオ/モノラル)を切り替える
- DVDメニュー/タイトルメニューを使う
- 小音量で聞きやすい音にする

### 前と後で別々のソースを楽しむ ⇒ 28ページ

- プライベートモード

### チェンジャーでCD/MDを聞く ⇒ 30ページ

- 繰り返し聞く、順不同に聞く、曲を探す、番号の入力でディスクを選ぶ、2台のチェンジャーを切り替える(ツインチェンジャー)



## 設定

⇒ 32ページ

各種設定 ⇒ 32ページ

音質設定 ⇒ 36ページ

その他の設定 ⇒ 38ページ



## 必要なときに

⇒ 40ページ

パネルの脱着のしかた ⇒ 40ページ

言語番号表 ⇒ 41ページ

MP3ファイル作成時の留意点

⇒ 42ページ

ディスクの取り扱いについて

⇒ 44ページ

故障かな!? ⇒ 45ページ

用語解説 ⇒ 50ページ

お手入れのしかた ⇒ 61ページ

仕様 ⇒ 62ページ

アフターサービスについて

⇒ 裏表紙



## 配線・取付

⇒ 52ページ

配線・取り付けの前に

⇒ 52ページ

取り付けかた

⇒ 53ページ

配線のしかた

⇒ 54ページ



ご使用前に

使いかた

設定

必要なときに

配線・取付



# 安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

### 取り付け・アース配線等に、 保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキシステム・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。  
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

### DC 12 V ⊖アース車で使用する



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です。DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

### 配線・取り付け作業中は、 バッテリーの⊖端子を必ずはずす



バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。



## 警告

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。  
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

### コード類は、運転や乗り降りの 妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

### 指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

### 分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

### 電池は乳幼児の手の届かないところ に保管する



事故の原因になります。  
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### 車のパイプ類・タンク・電気配線 などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災や事故の原因になります。

### リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下に入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

### MP3ファイル以外のファイルに、 拡張子「.MP3」を絶対に付けない



禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。



## ⚠ 注意

### 配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

### 水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

### 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

### 適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

### 本機の通風孔や放熱板をふさがない



内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

### 機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

### ディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

### エンジンを止めた状態で長時間使用しない



バッテリー消耗などにより、エンジンがかからなくなることがあります。

### シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない



本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

### 特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



ハート形や八角形などの特殊形状のディスクや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

## ⚠ 注意

### コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。

車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

### 電池は正しく使う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。

使いきった電池は、すぐに交換する。

リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。

充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。

電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)

著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。

(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

乳幼児の手の届くところに置かない。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

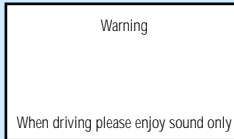


# 使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。(安全機能)

走行中は、DVDビデオ/ビデオCDの映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと画像は表示されません。安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

走行中は右図のようなメッセージが表示されます。  
(走行中は、音声のみお楽しみください。)



他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

## 本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください。

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

結露について

寒いときヒーターをつけた場合などで、急に車内の温度が上がったとき、本機内部の光学系レンズやディスクに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、正常な動作をしない場合があります。

結露の状況にもよりますが、ディスクを取り出して乾いたところで約1時間ほど放置しておけば、結露が取り除かれ正常に動作します。ディスクに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。

## 免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。



# 付属品・添付品の確認と準備

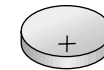
## 付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、52ページをご覧ください。



リモコン



パナソニック  
リチウム電池  
(CR2025)(1個)

## 添付品

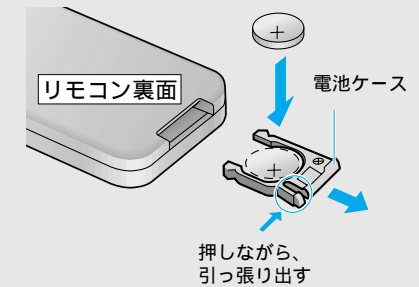
取扱説明書(本書)

保証書

お客様ご相談窓口一覧表

## リモコンに電池を入れる

- 1 電池ケースを出して、電池をはめ込む  
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



- 2 電池ケースを入れる  
奥まで挿し込んでください。

## 電池について

使用電池  
パナソニック リチウム電池(CR2025)

電池寿命  
通常の使用状態(常温時)で約6ヶ月

取り扱いの注意書きをよくお読みください。(9ページ)

ご使用前に



# 各部のなまえとはたらき

## 本体

**MUTE / P-MODE**  
ミュート プライベートモード  
一時的に消音する  
プライベートモードをON/OFFする  
(プライベートモードについては28ページをご覧ください)

**DISP**  
ディスプレイ  
表示を切り替える  
時計調整モードにする  
音質/その他の設定を終了する

**PLAY, BAND, APM, ENTER**  
プレイ バンド オートプリセットメモリ エンター  
ディスクを再生する  
バンドを選ぶ  
放送局を自動で探し、記憶させる  
2台のチェンジャーを切り替える  
(ツインチェンジャー接続時)

**オープン OPEN**  
パネルを開ける

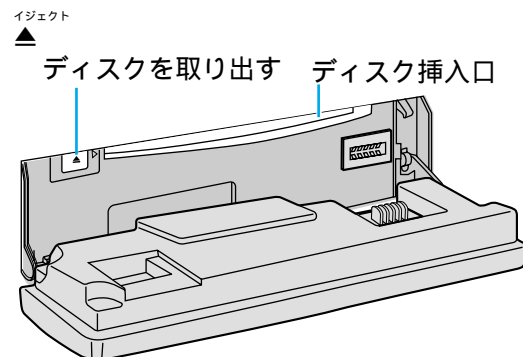
**リモコン受光部**  
ボリューム (回す) / SEL (押す)  
音量を調整する  
音質/その他の設定の項目を選ぶ

**ボリューム** 回す  
**SEL** 押す

**TUNE <>, TRACK <<>>**  
チューン トラック  
周波数/曲を選ぶ  
チャプター/トラック/ファイルを頭出しする  
チャプター/トラックを早送り/早戻しする  
項目を選ぶ、調整する

**プリセット ディスク**  
∨ ∨ (P-SET, DISC)  
時計 (時・分)を調整する  
放送局を手動で記憶させる/呼び出す  
ディスクを選ぶ  
フォルダを頭出しする

**パワ PWR (POWER) / SRC (SOURCE)**  
電源を入れる/切る  
音源 (ソース) を選ぶ



後面の端子については、「配線のしかた」をご覧ください。(54ページ)

## 表示部

選ばれているソースを表示  
ラジオ  
FM1 FM2 FM1 FM2  
DVD/ビデオCD/音楽CD/MP3  
CD/MDチェンジャー  
外部音声入力  
FLUX

S-HDBインジケータ  
(スーパー・ハイデフィニションパス)

ステレオインジケータ  
FMステレオ放送を受信すると点灯

文字表示部

リピート REP /  
ランダム RAND  
インジケータ

DISC  
ディスクが入っているときに点灯

MUTE on  
一時的に消音しているときに点灯

チェンジャーを接続すると点灯

02  
ツインチェンジャーのとき  
選択されている方のチェンジャー番号が点灯

スペアナ表示部

P-MODE : プライベートモードを設定すると点灯  
DRC : ダイナミックレンジコンプレッションを設定すると点灯  
STOP : 再生を停止すると点灯  
REW : 早戻し中に点灯  
PLAY : 再生中に点灯  
PAUSE : 再生を一時停止すると点灯  
FF : 早送り中に点灯

### お知らせ

本文中の は、本体でのみ操作できることを表します。

本文中の は、リモコンでのみ操作できることを表します。

ご使用前に

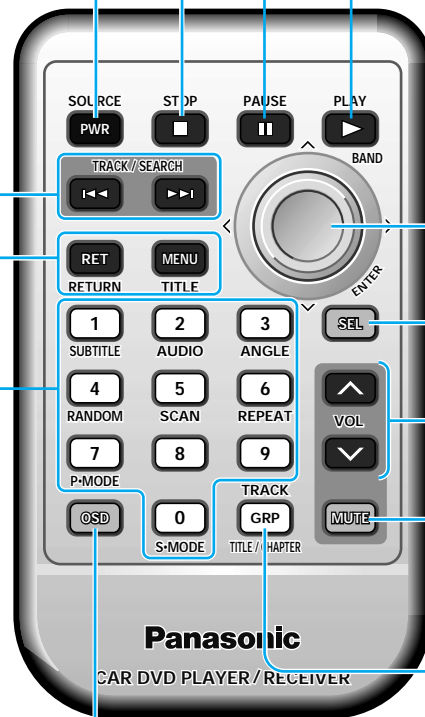


# 各部のなまえとはたらき

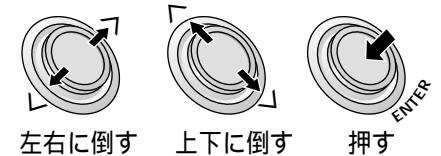
## リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

- (STOP) <sup>ストップ</sup>  
再生を止める(停止)
- PWR (POWER)、SOURCE <sup>パワー ソース</sup>  
電源を入れる/切る  
音源(ソース)を選ぶ
- ◀▶ (TRACK/SEARCH) <sup>トラック サーチ</sup>  
チャプター/トラック/ファイルを頭出しする  
チャプター/トラックを早送り/早戻りする  
スロー再生する (▶▶のみ)
- RET (RETURN) <sup>リターン</sup>  
番号を入力しなおす
- MENU (TITLE) <sup>メニュー タイトル</sup>  
メニュー画面を表示させる  
DVD/タイトルメニューを表示させる
- 1~9, 0 (10キー)  
番号の入力で選ぶ  
放送局を手動で記憶させる/呼び出す [1]~[6]  
字幕言語を切り替える (SUBTITLE) [1]  
音声言語を切り替える (AUDIO) [2]  
音声(ステレオ/モノラル)を切り替える (AUDIO) [2]  
角度(アングル)を切り替える (ANGLE) [3]  
順不同に聞く (RANDOM) [4]  
曲を探す (SCAN) [5]  
繰り返し再生する(REPEAT) [6]  
プライベートモードをON/OFFする (P・MODE) [7]  
小音量で聞きやすい音にする (S・MODE) [0]  
各種設定を終了する [0]




- ⏸ (PAUSE) <sup>ポーズ</sup>  
一時停止(静止)する  
コマ送り再生する
- ▶ (PLAY)、BAND <sup>プレイ バンド</sup>  
ディスクを再生する  
バンドを選ぶ  
放送局を自動で探し、記憶させる  
2台のチェンジャーを切り替える (ツインチェンジャー接続時)
- ◀▶ (マークの方向に倒す)/ ENTER (中心を押す) <sup>エンター</sup>  
周波数を選ぶ (<>)   
フォルダを頭出しする (◀▶)  
メニューなどの項目を選ぶ (◀▶<>),  
決定する (ENTER)  
ディスクを選ぶ (◀▶)(チェンジャー接続時)
- SEL (SELECT) <sup>セレクト</sup>  
音質/その他の設定の項目を切り替える
- VOL ▲▼ <sup>ボリューム</sup>  
音量を調整する
- MUTE <sup>ミュート</sup>  
一時的に消音する
- GRP (GROUP) (TRACK/TITLE/CHAPTER) <sup>グループ トラック タイトル チャプター</sup>  
ダイレクト選択モードにする
- OSD (On Screen Display) <sup>オンスクリーンディスプレイ</sup>  
OSDを表示する



### お知らせ

本文中の  は、本体でのみ操作できることを表します。

本文中の  は、リモコンでのみ操作できることを表します。